

3. 活動内容

(1) 収集ボランティア活動（全校生徒）

① アルミ缶収集

全校生徒で集めたアルミ缶を豊橋善意銀行に届け、福祉に役立てていく活動である。

第1回が7月、第2回が10月、それぞれ行事等に支障をきたさない1週間の登校時に、「福祉委員会」が主に呼びかけを行って取り組んだ。生徒はほとんど自宅で貯めてある缶を持ってくるが、中には、登校中に捨ててあるものを拾って美化活動を兼ねる生徒もいた。収集期間中、生徒は持ってきた缶をレジ袋等にまとめて教室保管をしておき、最終日に、事前連絡して置いた回収業者に回収してもらった。2回とも約1万個を超える缶が回収でき、社会貢献できた。

② エコキャップ回収運動（全校生徒）

アルミ缶収集と違い、特別な週間を設けず、年間を通じて常時おこなうものである。エコキャップを回収し、ワクチンに変えてもらえることを学んだ生徒たちは積極的に活動に取り組んだ。生徒各自については、学級に常設してある段ボールの専用回収箱に、自宅で貯めてあるペットボトルキャップ（エコキャップ）を、



持ってこれる日に持ってくる。さらに、学校に隣接している市役所庁舎内に常設してある回収箱にも市民の皆様から協力をいただいております、その箱の回収箱を各学級で定期的に回収している。この回収日は、特別活動部の中の生徒会担当が中心となって、年度当初計画が提案されている。全校生徒へはこの計画の提示を生徒会執行部が中心となって行っている。このほかに6月にPTAと生徒、教職員が主となって取り組む資源回収、7月・12月の保護者会の際に行われる持ち寄り資源回収（保護者が学校に持参）にもエコキャップの回収がなされた。今年度は年間約58,000個の回収があった。業者を通してワクチンに変えるために貢献でき、生徒も満足感を得ている。

(2) 木曜ボランティア（有志生徒）

本校では毎月1回の職員会議が木曜日の授業後に行われており、その日は生徒たちは部活動もなく一斉下校となる。そんな中、自己申告した生徒が「手話」「点字」「病院ボランティア」の三活動に分かれ取り組む。



「手話」と「点字」講座については、学校に居残りして地域のボランティア講師となる先生の指導のもと活動を行った。「手話」では、「会話」や「歌」を目標に毎回の講座を真剣に取り組めた。プレゼンの際には全校生徒の前で歌をいきいきと披露できた。

「点字」では、市販の「絵本」に点字用テープに点字を印字し、10回の講座を通して障がい者用の絵本を作成することができた。「病院ボランティア」では、隣接している「病院」を訪問し、お年寄りの話し相手になる活動を行ってきた。初めは、何を話してよいのかわからず、戸惑いを隠せなかった生徒たちも、10回の訪問を終えるころには、あらかじめ交流内容を考えておくなど、やりがいを感じる生徒が増えた。5月17日を皮切りに11月5日まで都合10回の活動を継続して行ったあと、参加生徒たちは12月21日の朝会で活動報告のプレゼンを行った。

(3) 豊川クリーン作戦（全校生徒）

当初は隣接する豊橋公園の清掃ボランティアから始まった自主清掃活動であるが、行事の精選に伴い、学校の隣を走る国道沿いの歩道や、隣接する1級河川である豊川の遊歩道の清掃を行うことで、環境保全の意識をもつことをねらいとしている。今年度は11月2日に計画していた日が、予備日がとれず、雨天となって



しまったため、当初全校生徒の活動で計画していたものを1～3年有志の生徒での活動となり、規模は縮小してしまいましたが、呼びかけの声に快く応える生徒の多さに環境保全の意識の高さを感じた。

(4) 吉田文楽（人形浄瑠璃）の継承活動（1年生及び部活動）

本校の文化部の1つである人形浄瑠璃部は、今や校区の無形文化財である吉田文楽の意思を継承する部活動となっている。校区にある吉田文楽保存会の会員の人々はほとんどが高齢で、存続も危ぶまれ、後継者獲得に苦慮している。本校の活動がそんな状況を支え、少しでもその助けとなれば幸いである。部活動の発表の場として今年度は新入生歓迎会、文化祭、3年生を送る会があった。鶴の恩返しなど昔ばなしを全校生徒や参観に来た保護者の前で発表した。また、今年度は、夏に市の芸術劇場で行われた「小中学生による芸能フェスティバル」においても初出場して発表を行った。



また、本校では、部活動とは別に、1年生を対象に「人形浄瑠璃体験学習会」を行っている。1年生の総合的な学習では、後期に地域に目を向ける学習を行っている。その一環としてこの学習会を今年の1年生も体験した。11月12日の午後の総合的な学習の時間を使って吉田文楽保存会の方々を招き、生徒たちはその歴史や人形とその道具類の説明と、生の公演を鑑賞した。また、人形の遣い方も、会員の人々の講習を得ながら体験できた。動きのみならず、喜怒哀楽の表現は、生徒たちの思った以上に難しく、奥の深さを感じ、地域の文化の継承への意識を高めることができた。

(5) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む） (4)
- 時間外活動の時間を使用 (1) ~ (3)
 - ユネスコクラブの活動として実施
 - その他 ()